

3月定例会

予算等審査特別委員会

予 算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例9件、予算17件、その他5件の31議案について付託を受け、6日間の審議を行いました。今委員会では、21年度補正予算等と22年度一般会計予算等が示され、農林水産振興ビジョンや地域連携型緊急雇用創出事業等について活発な質疑が交わされました。その結果、全議案が原案のとおり可決されました。

市内の雇用創出をどう図っていくのか

問 地域連携型緊急雇用創出事業の主な内容は。

答 前年度より3倍程度予算を増やしているが、国の基金を活用したものが主なものであり、ふるさと雇用とか緊急雇用、新たに新設した住建事業や人材育成な

どで、31事業ほど計画している。

問 人材育成の内容と今後の事業展開は。

答 介護の人材をはじめ、各種人材が不足していることから、働きながら資格を取る事業を進める。例えばホームヘルパー2級とか介護士の資格取得などであり、一方では企業の現状を把握しつつ雇用対策関係者とタッグを組んで雇用確保に努めていく。

複式学級への加配教員の配置は

問 22年度における市内小学校の複式学級の状況は。

答 2校で3学級となる予定である。

問 3学級全てに県からの加配教員はあるのか。

答 2学級についてはあるが、1学級については児童数が県の基準に満たないの

で加配はない。

問 県からの加配教員がない学級について、市で配置する予定はあるか。

答 22年度は予定していない。

問 教育の機会均等の観点からも配置して、複式学級の解消を図るべきと考えるがどうか。

答 再度検討してその実現に向けて努力したい。

遠野物語発刊百周年記念事業について

問 平成22年度の遠野物語の記念事業を、どのように推進するのか。

答 遠野物語は柳田國男が土淵の佐々木喜善から地元には伝わる話を聞いて119の話を本にまとめたもの。遠野の厳しい自然の中で、今まで遠野の人たちが培い、育

んできたものが息づいている。文化を継承しつつ、遠野物語を大切な宝として市民がもう一度認識し、全国に発信していく。遠野に来て頂き、日本のふるさと遠野を感じさせる事業の展開を考えていきたい。

問 遠野の活性化に大きく関わってくる市民の盛り上がりについての考えは。

答 みんなで築くふるさと推進事業の中で、今年度も市民の理解を得ながら、足元にある事業を進めていく。



全国的に注目されている子供語り部

遠野物語 百周年
The 100th Anniversary of The Legends of Tono 2010